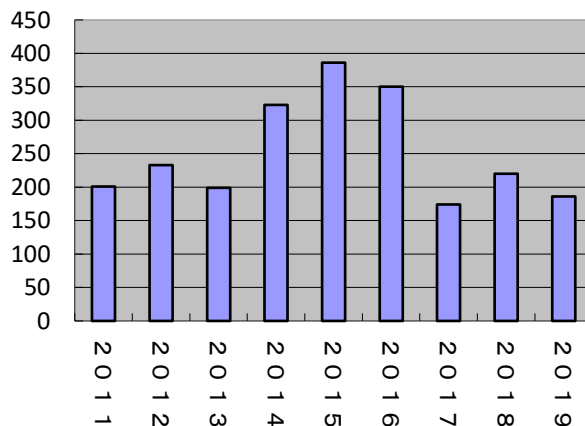


西柴小地域防災拠点の紹介

1. 概要 (対象世帯数 2000)

- (1) 構成自治会 は 「西柴団地自治会」と 「サウス自治会」 の2つ
- (2) 運営委員の人数 毎年各自治会組織より選出 約 100名
- (3) 訓練参加者推移



2020年、2021年は
コロナの為、中止
今年度は未定

2. 訓練実施日と訓練項目

(1) コロナ前(2019年度まで)

- ① 備蓄品確認 8月中旬の夕方、拠点運営委員で実施
- ② 避難訓練 10月第4日曜日 地域住民参加の避難訓練

(2) コロナ後

- ① 備蓄倉庫の状態チェック、備蓄品入れ替え時、特定の人で実施
- ② 2020年度はすべて中止

2021年度は2022年2月に拠点運営委員による受付と体育館避難スペース作成を計画準備したが、県から警報が発出されていたので訓練は中止。

3. 拠点訓練の内容

(1) 2016年度までは

地域住民参加型の水消火器、毛布担架、三角巾、ガス発電機使い方炊飯器での米炊き実演と配給の訓練と拠点設備の紹介。

(2) 2017年度からは

水消火器、毛布担架、三角巾の訓練はやめ、避難スペースの作り方、バケツリレーによる水搬送と備蓄倉庫の備蓄品の展示を行い。自宅での備えについて説明している。

4. 拠点の問題点

- ① 避難場所の体育館は3Fにあり、階段で移動する必要がある。
収容人数は100名弱であったがコロナ対策をすると50名程度に減ってします。
はまっこトイレが1F校庭にあり、避難生活の動線として不便な面がある。
- ② 備蓄庫スペースが少なく、資機材が目いっぱい入っているため、在庫確認、備品入れ替えに、手間がかかる。

＊はまっこトイレの導入後スペースが足りなくなった。(新しい資機材を配備する時は収納場所を考えてからにしてほしい)、避難場所区切りようパーティションの収納場所についても同様な問題がありー＞体育館ステージ下スペースに収納したが在庫確認に苦労している。

＊ スペースが減ったのは「はまっこトイレ」、 感染防止用区切り備品等の支給後。

＜資機材の格納スペース＞

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ○ C棟1F入口前 崖側にコンテナ型倉庫 2ヶ | ＜一 資機材収納 |
| ○ C棟3F体育館裏の倉庫 | ＜一 食料品、 ランタン |
| ○ C棟3F体育館ステージ下の3分の1 | ＜一 段ボールベット、毛布 |
| ○ C棟2F特別支援教室の棚の一部 | ＜一 保健室のあった医療関係器具 |
- 発災時はC棟2F教室の3教室利用可

5. 配備資機材で訓練が出来ていないのは

(1) 新たに収納分もので訓練が出来ていない資機材

- ① はまっこトイレ関係
- ② 更新した移動式炊飯器(かまどセット)

(2) 以前から収納されていた分で訓練できていない資機材

- ① エンジンカッター 2台 <火花が出るので取り扱いが難しい>
- ② ガソリン発電機 3台 <残ったガソリンの処分がめんどくさい>
(カセットガス式は訓練している)
- ③ 組み立て式トイレ 2台 <訓練する度に部品が無くなる>
(6年前に組み立ては実施)

6. コロナ禍の拠点訓練検討事項について

(1) 訓練実施の判断

昨年度は県下に「何らかの警報が出ている時」は活動中止とした。

(2) 感染症発生時の拠点運営方法

- ① 受付は感染予防用に支給されているグッズで大丈夫か
- ② 避難場所の区分けは感染者と正常者を分けて避難場所を作るがどこまで、教室を利用できるか

以上